

## 2025年度(令和7年度)一般選抜 B 日程

# 小論文問題

芸術文化観光専門職大学

芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

### 注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は表紙のほかに4ページあります。
3. 問題は 1 項 2 問あります。
4. 解答用紙が1枚、下書き用紙が1枚あります。
5. 試験監督者の指示に従い、黒のボールペン(消せるものは不可)で、氏名、受験番号を解答用紙のそれぞれ1か所の記入欄に記入しなさい。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入しなさい。解答用紙の裏面には記入してはいけません。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字、アルファベットを含めて全て1マスに1字ずつ記入しなさい。たとえば、「10」は2マスを使って記入します。
9. 試験時間は90分です。
10. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。



次の2つの資料 A、B を読んで、後の問い合わせに答えなさい。なお、出題の都合上、本文の一部を改変したところがある。

## 資料A

螺旋的コミュニケーション・スタイルとは、自分の主張や意見を明確に言語化しないで、相手にいろいろと状況を説明し気持ちを伝えながら、相手が結論を推察してくれることを期待する表現方法であり最後まで結論を言わないスタイルである。直線的なコミュニケーション・スタイルとは自分の主張や意見を簡潔に表現し、次にその主張や意見の背後にある理由を論理的に説明し、相手の理解と同調を求める表現方法である。まず結論を言ってから、裏付けを加えるスタイルである。

螺旋的スタイルと直線的スタイルを並列すると、その違いがよく分かる。「今夜、一緒に飲みに行こう」という誘いに対して—

螺旋的返答:「いいねえ。ここんところ忙しくて飲みに行っていないなあ。今日も、仕事がたまっていて、残業だよ。何時になるか分からない。まったくまいっっちゃう」

直線的返答:「いやあ、残念だけどダメなんだ。残業で何時に終わるか分からない。まったくまいっっちゃう」

日本人ならどちらの考え方でも断っていることは直ぐに分かる。しかし、直線的なコミュニケーション・スタイルを用いる人だと、螺旋的な答えに対しては納得できなくて、さらなる誘いをかけてくる。「残業がいやなら、明日に廻せばいいだろう。今夜は息抜きが必要だよ」などと、こちらの気持ちを読み違えて反応してくる。相手は主体(主語)が明確な断りのことばを表明しないかぎり納得できない気分なのである。

螺旋的な考え方では相手が誘ってくれたことに対する肯定的な気持ち、残業で一緒にに行けないことに対して相手の同情を求める気持ちなど、相手の感情移入を期待する態度が多分にこもっている。直線的スタイルでは、飲みに行けないことと残業に対する話者の気持ちを表明されているが、相

手に対する気持ちはほとんど表明されていない。

これら二つのコミュニケーション・スタイルを説明するのに、人間としての個の確立の概念を用いることができる。螺旋的なスタイルでは、相手と自分とを情緒的に結びつけるグループ意識が見られ、「個」の確立を感じさせない。直線的なスタイルでは、相手と自分を一体化しない「個」の立場が明確であり、論理的な弁論に向いている。

国際化が進む中、日本人の曖昧なコミュニケーション・スタイルを改め、論理的で明確なコミュニケーション・スタイルを習得すべきであるという意見をよく聞く。宮智<sup>(注)</sup>はビジネス・コミュニケーションについての日本貿易振興会の提言を解説し、これからビジネスマンは、はっきりと意見を述べ、論理的に説明できるようにならねばならないと指摘している。個々人の権限と責任が曖昧で意見を積極的に述べる機会が少ない日本の経営風土を改め、集団主義的思考と行動から脱出して、「個」の確立に基づく意思伝達や説明能力を身につけることが国際ビジネスマンの条件であるとしている。

螺旋的なコミュニケーション・スタイルが日本で用いられるのは、それが日本の風土や人間関係のあり方に調和しているからである。①日本人同士がコミュニケーションするときにはこのスタイルで良いのであるが、相手が文化背景の異なる人である場合は、螺旋的スタイルでは真意がなかなか伝わらない。メッセージが伝わるか伝わりにくいかを考えた場合、一番メッセージが伝わりやすいのは双方が直線的スタイルを用いた場合であろう。一番問題となるのは、双方とも螺旋的スタイルで、かつ文化背景が異なる場合である。文化背景が異なると、<sup>おもて</sup>表に表れないメッセージを察することは非常に難しいから、互いに理解するのにかなりの時間を要するであろう。誤解の危険性も増す。したがって、国際ビジネス・コミュニケーションの場合は、日本貿易振興会の提言のように直線的なスタイルを用いたほうが良いことになる。それぞれのスタイルには優劣があるわけではなく、相手と目的に応じてコミュニケーション・スタイルを使い分けなければならないということである。

(注) 宮智宗七:日本のジャーナリスト、経済学者

## 資料 B

望月さんは、子供の頃お世話になったおじさんが重い病気で入院しているのを知り、はるばる遠いところまでお見舞いに出かけていった。病院に行く途中で、お見舞いの品は何がよいか考えながら歩いていると、おじさんが大のお花好きだということに気付き、ちょうど道すがらにあった生花店で、きれいに咲いているプリムラの鉢植えを買った。小さな鉢植えが、大好きなおじさんの心を少しでも和ませてくれることを願って。病室に入り、お見舞いをすると、おじさんも付き添っていたおばさんも大変喜んでくれた。ただ、お見舞いの鉢植えを窓辺に置いたときは何もコメントがなかったので少しだけ気にはなった。その日は知り合いの家に泊まり、翌日帰りがけにもう一度病室を訪れると、前日に持っていた鉢植えがなくなっていた。後に望月さんは、お見舞いに鉢植えを持っていくのは「根づく」が「寝付く」に通ずるため、忌み嫌われる、「非常識」だということを知り、大変驚いた。おじさん、おばさんの気持ちを考えると本当に申し訳なさでいっぱいになった。その後、おじさんが帰らぬ人となってしまったので、未だに心の痛みはいえないでいるという。実は望月さんは学生時代からさまざまな文化の人々と交流が多い。そんな中で友人あるいは外国語の先生から、「生きているものを切ってしまうのだから、切り花というものは縁起が悪く、お見舞いには忌みきらわれる」という考え方を学んだ事があった。その考え方をいつのまにか受け入れており、このとき、それが無意識に出てきたようだ。「お見舞いに鉢植え」が本当に非常識なかどうか、彼は未だに釈然としない。

出典(資料 A、B):八代京子他『異文化トレーニング:ボーダーレス社会を生きる(改訂版)』

三修社,2009 年

## 問題

問1 螺旋的コミュニケーション・スタイルと直線的コミュニケーション・スタイルとは何か。資料Aを参考にしながら、それぞれの特徴およびメリットとデメリットをふまえて説明しなさい。（400字以内）

問2 資料A下線①「日本人同士がコミュニケーションするときにはこのスタイルで良いのであるが、相手が文化背景の異なる人である場合は、螺旋的スタイルでは真意がなかなか伝わらない。」とあるが、資料Bでは、日本人同士のコミュニケーションにおいて、お互いの真意がうまく伝わらない事例が紹介されている。

望月さんがおじさんとおばさんに対して申し訳ない気持ちを抱いている理由について、双方のコミュニケーション・スタイルに言及しながら説明しなさい。さらに、このようにお互いの真意がうまく伝わらない状況を打開するためには、どのような対処法や姿勢が必要だと思うか、あなたの意見を述べなさい。（750字以内）

